

意見の合わない友だちとも 気持ちよく

今度、社会の授業でペアを組んで発表をする。相手の潤一とは気が合わなくて、なんとなく苦手。林間学校の班でも郷土学習の班でもいっしょで、いつも意見が食いちがってしまう。また気まずくなったらどうしよう。



尊重し合う気持ちを忘れないで

相手と意見が食いちがうと気まずかったり、わかってほしいのに！と悲しくなったりイライラしたりするよね。でも、それは相手も同じじゃないかな。自分がどう考えるか自由であると同じように、相手がどう考えるかも自由。だから、気持ちよくつきあいたいと願うなら、自分の考えだけでなく、相手の考えを尊重する気持ちを忘れてはいけないんだ。最初から否定しないで、まずは相手の考えに耳をかたむけること。むずかしいことか



もしれないけれど、「そういう考え方もあるんだな」と理解するうちに、相手の意見の面白いところに気づくかもしれない。もっといいアイデアが生まれるかもしれないよ。

ちがうことは悪いことではないんだ。ちがうところがあるからこそ、発見があり、おどろぎが生まれる。意見のちがう相手と話すのは、新しい考え方を知って世界を広げるチャンス。ちがう意見を楽しんでみようよ!

世界人権宣言

第1条

すべての人間は、生まれながらにして自由であり、かつ尊厳と権利とについて平等である。人間は、理性と良心とを授けられており、たがいに同胞の精神をもって行動しなければならぬ。

考えてみよう!

- 自分とちがう意見の人がいたらどんな気持ちになる?
- 第一印象で賛成できない意見をあとでもう一度考えてみたら、ちがう印象になったかな?

みんなで話そう!

きみはどう考える?

意見が合わない人と、きみならどうつきあう?



波風を立てたくないから、相手の意見に無理して合わせちゃう。でも、自分の意見も聞いてほしいと思うから、勇気を出して言ってみようかな。



ダイゴとは意見が合わなくてケンカになることも多いかな。おたがい、ゆずらないからね。でも、思っていることを言い合うとスッキリするよ。



気が合わないなら、無理につきあわなくてもいいと思うな。疲れるし、いやな思いをするのはかんべんだわ。



謙作はいばっていて苦手だと思っていたけど、グループ学習のとき話したら、優しいやつだったよ。苦手だと決めつけしないで話してみると、知らなかった面を発見することがあると思う。

キーワード

価値観

なにを大切にし、なにをよいと思うかを判断する、自分の考え方。

尊重するってどんなこと?

尊重とは相手の気持ちや意見を大切にすること。自分の意見や価値観を大切にすることもよいことだけど、自分の考えにこだわりすぎると頭が固まって、ほかの人の意見が耳に入らなくなるよ。相手の話をきちんと聞いて、こんな考え方もあるんだと柔軟に受け止めよう。



た すう けつ 多数決って びょう どう 平等じゃないの？

たの かい
お楽しみ会で「レクリエーションゲームをやる」か
「アニメを観る」で意見が割れた。多数決で「ゲーム」に
なっただけど、不公平だと言出す子がいて……。
た すう けつ びょう どう ほう ほう
多数決は平等な方法ではないのかな。

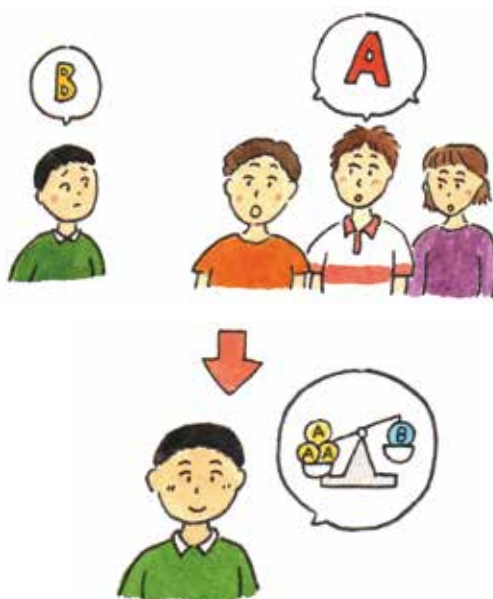


みんなの気持ちをひとつにまとめるには

た すう けつ
多数決は、みんなの意見をまとめる時
の、ひとつの方法だよ。民主主義の社
会において、物事を決めるとき、わか
りやすく手取り早いやり方だ。でも、
た すう けつ ぜったい びょう どう
多数決なら絶対に平等かという、少し
ちがうかもしれない。

民主主義では、多数決の原理と、少数
の権利を守ることのふたつが必要だとう
たっているよ。多数派は少数派の意見
を大切にしなければならぬということ
もおぼえておこう。

賛成する人が多いからと言って、それ
が正しい意見だとは限らない。みんな
で楽しくすごしたいから、いろいろな人
の意見をできるだけ平等に反映できると
いいよね。



たとえば、「時間を決めて、A.レクリエーションゲームとB.アニメ映画鑑賞の両方をやる」のだっていいかもしれない。より多くの人々が納得する方法を考えてみよう。

キーワード

民主主義

こく じん
国民ひとりひとりが主役になり、国民全体がしあわせになるため、話し合いながら政治をしようという考え方のこと。

かんが 考えてみよう！

- 多数決で決めることは、絶対に正しいのかな？
- どんな決め方をすればいいと思う？

みんなで話そう！

きみはどう考える？

なにかを決めなくてはならないとき、
「多数決で決める」ことについて、どう思う？

自分が少数派の意見だったら、不満を感じるかもしれないな。本当に平等だと思うのは、くじ引きとか、あみだくじとか、運にまかせる決め方かな。でも、くじじゃ、大事なことは決められないかな？

やっぱり多くの人が賛成している意見に従うべきだと思うから、多数決はいい方法だと思う。ただ、いろいろな意見の長所と短所をちゃんと考える必要があるよね。

仲がいい人の意見が気になっちゃう性格なの。だから、多数決でも、友だちに合わせちゃう。本当は、全員が納得するまで話し合うのが、一番平等だなんて思う。時間がかかるかもしれないけど……。

多数決も大事だけど、みんなそれぞれ個性があるから、少数意見にはいつも耳をかたむけた方がいいと思う。そうすると、ひとりひとりのことがよくわかって、相手を尊重する気持ちも自然に生まれるような気がするな。

びょう どう 平等ってどんなこと？

平等とは、差別されないこと。出身国や性別、お金があるかどうか、どんな言葉を使っているか、どんな宗教を信仰しているかなどに関係なく、だれもが人間として同じあつかいをされることをさすんだ。もし、世界中の決めごとを多数決だけで決めていたら、人口の少ない国の人びとや、少数民族の人びとの意見は、反映されにくいかもしれないよね。少数派の人びとの意見も公平に反映されるために、なにかくふうをする必要があるんじゃないかな。



授業中さわりでは いけないのはなぜ?

授業中に先生の話^{せんせい はなし}を聞かないで、友達としゃべって注意^{ちゅうい}されたので、「ぼくには表現^{ひょうげん}の自由^{じゆう}という権利^{けんり}がある!」と主張^{しゅちよう}した。そうしたら先生は「クラスみんなには、授業^{じゅぎょう}を受ける権利^{けんり}がある。それをじゃまするのは許^{ゆる}されないよ。」だって。



「権利^{けんり}の濫用^{らんよう} (乱用)」をしてはいけない

みんなが授業^{じゅぎょう}を受ける権利^{けんり}を侵害^{しんがい}してまで、自分の表現^{ひょうげん}の自由^{じゆう}を保障^{ほしょう}しろというのは権利^{けんり}の濫用^{らんよう} (乱用) といって、権利^{けんり}の正しい使い方^{ただつかいかた}ではない。このように、だれかの権利^{けんり}とほかの人の権利^{けんり}がぶつかるとは社会^{しゃかい}でもよくあるけれど、そんなとき、みんなが自分の権利^{けんり}ばかりをみとめるとさわりだら社会^{しゃかい}は大混乱^{だいこんらん}になってしまうよね。それを防ぐ^{ふせ}ために、おたがいの権利^{けんり}や人権^{じんけん}を大事^{だいじ}にする義務^{ぎむ}



がある。これを「権利^{けんり}・人権相互尊重^{じんけんそうごそんちよう}の義務^{ぎむ}」というよ。

自分の権利^{けんり}をみとめてほしければ、相手の権利^{けんり}も大事^{だいじ}に考えなければいけないってわけだね。周りの人に迷惑^{めいわく}をかけたり、社会^{しゃかい}のルールに反^{はん}したりするような権利^{けんり}の使い方はまちがっているし、みとめられない。だれもがさまざまな権利^{けんり}を与^{あた}えられているけれど、より大切な権利^{けんり}を守るために、そのほかの権利^{けんり}が制限^{せいげん}されることもあるってことをおぼえておこう。これは、おとなも子どもも同じだよ。



考えてみよう!

- 自分の権利^{けんり}が、ほかの人の権利^{けんり}のために侵害^{しんがい}されているって思ったことはある?
- 権利^{けんり}を主張^{しゅちよう}しすぎて、だれかの権利^{けんり}を侵害^{しんがい}していることはないかな?

民法^{みんぽう}

第1条第3項

権利^{けんり}の濫用^{らんよう}は、これを許さない。

みんなで話そう!

きみはどう考える?

だれかの権利^{けんり}と、ほかの人の権利^{けんり}がぶつかってしまったら、どうやって解決^{かいけつ}していけばいいだろう。



ひとりの権利^{けんり}より、たくさんの人の権利^{けんり}を守るべきだと思うな。

人数^{にんずう}の多^{おほ}さで決めるのじゃなく、どっちの権利^{けんり}が正しいかが決め手だよ。もし授業^{じゅぎょう}中自由^{じゆう}にさわぎたいって人が多くても、授業^{じゅぎょう}を受ける権利^{けんり}のほうが大切^{たいせつ}で守られるべきだと思う。



どちらも同じくらい大切^{たいせつ}な権利^{けんり}の場合だとむずかしいね。おたがいに少しづつがまんしたり、話し合^{はな}って決めるしかないのかな。



権利^{けんり}がぶつかっている人どうしたと、どうしても自分の権利^{けんり}を通^{とお}したいと思うだろうから、第三者^{だいさんしよ}に相談^{そうだん}してみるといいんじゃないかな。



おたがいの権利^{けんり}を尊重^{そんちよう}しよう!

子どもの権利^{けんり}条約^{じょうやく}には、子どもの権利^{けんり}を保障^{ほしょう}するのは、親^{おや}と国^{くに}、つまりおとなの義務^{ぎむ}だとかいてある。だけど、子どもにも、友だちの権利^{けんり}を尊重^{そんちよう}する義務^{ぎむ}があるんだ。おたがいに相手の権利^{けんり}をみとめあい、尊重^{そんちよう}する「権利^{けんり}の相互尊重^{そうごそんちよう}の義務^{ぎむ}」があることで、みんながしあわせに生きていくことができるんだよ。

